

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：17-262

試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）

- ・研究課題名：頭頸部癌における免疫応答状態の組織学的検討
- ・目的：再発転移頭頸部癌に対して、免疫チェックポイント阻害薬であるニボルマブが承認されましたが、現在のところ、奏効率は13.3%と満足のいく数字ではありません。どのような患者さんに効果が認められるかの効果予測因子については現在多くの施設で検討されていますが確立したものではありません。当科でも効果予測因子について前向きに検討をしていますが、PD-L1の発現率が現在コンパニオン診断として推奨されています。これまでの当科で根治治療を行った患者さんの組織から、これらの因子の発現率と予後の相関を検討し、今後前向きな検討のベースとしたいと考えています。
- ・研究期間：臨床研究IRB承認日～2025年3月31日
- ・研究対象：2007年4月1日～2022年3月31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

：年齢、性別、既往歴、画像情報、臨床診断、病理診断、治療歴、治療の奏効割合、治療後の予後情報、治療後の副作用に関する情報を電子カルテから調べます。生検組織や手術検体の免疫組織化学染色を行います。

利用する者の範囲

：埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科 久場潔実

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

：埼玉医科大学国際医療センター 頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科 久場潔実